美術科　学習指導案

八尾市立龍華中学校

研究テーマ：学びへのスムースな導きと、学んだことを定着させ、深めるための授業

教科	美術科	学年・組	第１学年１組	場所	４階 第１美術室
単元名	A表現・絵に表す　（漫画表現）				（第１時／全３時）
本時の目標	・漫画表現には、どのような工夫がされているかを理解する。 ・漫画における日本及び諸外国の独特な表現形式から、日本独自の表現を知る。				
本時の評価規準	・漫画表現の特徴を理解し、漫符を組み合わせる事により、イメージをわかりやすく表現できることを理解している。 ・イメージを表現するために、記号や文字、形の組み合わせや画面上の配置などを考え構想している。 ・漫画表現を用いてイメージを表現し鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。				
本時の判断基準	評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	支援を要する生徒へのてだて	
	思考・判断・表現	漫画表現の特徴を理解し、漫符を組み合わせイメージ表現できている。	漫符を用いた表現を理解し表現できている。	楽しんで説明を聞けるよう資料提示に工夫する。	
	主体的に学習に取り組む態度	漫符を組み合わせてイメージを表現し他者の意見も取り入れ表現できている。	漫符を用いてイメージを表現できている。	資料を参考にして描くよう支援する。	

１．本時のめあてと、そのねらい

めあて	複数の漫画表現を比べ、伝えたいことを効果的に表す工夫を見つけよう【探究・思考型】
ねらい *教材観、生徒観、指導観を含む	身近にあふれる漫画表現。形を単純化し、象徴化、誇張する事が表現の特徴として挙げられる。その優れた情報伝達力は文章の二倍ともいわれ、わかりやすい表現であるが、それゆえ実際に表現を行うには高度な能力が必要となる。 諸外国の漫画表現と日本の漫画表現を比較し、日本の漫画表現の特色（イラストや絵画との違い）を理解させ、ワークシートを用いて、漫画のキャラクター以外の構成要素（※漫符、オノマトペ、フキダシなど）を順に考えさせ、説明し漫画表現の特色を分解整理して、ヒトコマを完成させる事で、漫画表現が出来る事を体験させ漫画表現の力と可能性、そして楽しさを体験させたい。

２．期待する振り返りの好例（めあてを踏まえて）

・漫画ならではの表現（漫符）を理解することができた。

・漫符を使用することで、どんなものを描いても感情を表現できることがわかった

・日本以外の漫画表現を知り、日本漫画の表現を知ることができた。

３．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漫画表現の特徴を理解し、適切な漫符などを組み合わせる事により、自分のイメージをわかりやすく表現できることを理解している。	・作品のテーマを表現するために、漫符や文字、形の組み合わせや画面上の配置などを考え構想している。 ・作品のよさを感じ取り、どのような工夫や意図で表現されているかを考え、見方や感じ方を広げられている。	・表現活動の喜びを味わい、漫画表現を用いてイメージを表現したり鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。

４．単元の指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点	時	学習内容	評価の観点
1 本時	海外と日本の漫画表現を紹介、比較し、漫画表現の特徴を交流し考える。漫符についてワークシートを使い発想し、発表交流する。	知識・技能 思考・判断	3	絵画やデザイン、映像表現における漫画的表現を紹介。絵巻物も鑑賞し、表現の移り変わり歴史の連続性を知り見方を広げる。	知識・技能 思考・判断
2	レタリング授業での内容も振り返り、日常生活から発想しオリジナルオノマトペを制作する。	思考・判断 主体的			

５．本時の学習過程

	学習活動	主な指導（◎）と支援（○）、 言語活動への働きかけ（◆）	評価の観点 （評価方法）
	めあて：複数の漫画表現を比べ、伝えたいことを効果的に表す工夫を見つけよう		
導入 （１５分）	諸外国の漫画表現と日本の漫画表現を鑑賞し比較する	◎外国の漫画表現を提示し、生徒に問いかける。 ◆意見をひろいあげ理由を聞く ◎日本の漫画を提示し、外国の漫画との表現の違いを問いかける。 ○「動きがある」などの結論がでるよう、生徒の意見を誘発する。	諸外国の漫画表現と日本の漫画表現を比較し自分なりの考えを伝えることができたか（思）
展開１ （１０分）	ワークシートに取り組み漫画表現について考えてみる	◆ワークシートを配布する。 ○ワークシートには簡単なイラストと感情や状態を表す言葉が印刷されている。文字を描き入れない制限をもうけ、自由に発想させ描かせる。	言葉をつかわず絵の力だけで、感情や状態などが伝わるよう試行錯誤する（思）

展開２ （１０分）	ワークシートに取り組み一コマを完成させていく。	◆ワークシートを進めていくよう指示する。 〇机間巡視、アイデアやタブレット操作など生徒が必要とする支援を行う。	
まとめ （１５分）	共有された作品を鑑賞する。 ・漫符について理解する。 本時の振り返り ・漫画表現をどのように使ったか、工夫した部分と効果を説明しましょう	◎出来上がったものからタブレット端末を用いて共有させ、ある程度の作品が揃った段階で紹介していく。 ◆とくに個性的な表現をとりあげ、工夫を聞き批評する。 ◎一般的な漫符表現を紹介し、漫符の説明をする。漫符表現の、映像やポスターへの活用も紹介し、漫画表現の力を知る。	日本の漫画表現の特徴のひとつである漫符について知り、理解することができたか（知） 漫画表現をどのように使ったか、工夫した部分と効果を説明しましょう